



おもてなしの心育む

オリパラ教育事業開始

2020年東京五輪・パラリンピックに向け、郡山市は18日、市内の小学校で、市オリンピック・パラリンピック教育推進事業をスタートさせた。初日は小原田、桜の両小で「おもてなしの心を育てる」をテーマにした授業が行われ、子どもたちが外国人をもてなすことを学んだ。

同事業の教育推進校には小学校9校が選定されている。小原田小では日本航空の元客室添乗員で筑波大客員教授の江上いずみさんが講師を務めた。

江上さんはグローバルマナーとして握手のポイントを伝授。「握手は右手で、

頭を下げずに相手の目を見ることが大事」と話した。注意点として「両手で握ら

ず、強すぎず弱すぎないことがポイント」などと述べた。

児童は互いに握手するなどし、他者を思いやる心を育んでいた。